

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なかしゅんぱ



70歳以上を対象とした敬老会がウエディングプラザ別海で9月25日(金)開催され、ご馳走を囲みながら久しぶりにあった友人たちとお孫さんや趣味の話に花を咲かせ、カラオケや踊りなどを楽しまれました。

  
JA中春別

# 10月号

2015 Vol. 453





## のびのびと牛が過ごせる環境づくり 牛に目を配り愛情を注ぎこむ

中春別地区・内藤牧場後継者 **内藤 俊**さん(26歳)

今月は中春別地区の内藤牧場の後継者。内藤俊氏に取材を受けていただきました。

### 内藤牧場の始まりと歴史

祖父・義弘さんが尾岱沼で行っていた漁師を辞め昭和32年入植。当初はホルスタイン牛4頭、馬1頭で酪農経営の第一歩を歩みはじめました。

入植当初は、馬で開墾し鋤で立ち木を一本一本切り倒し、炭焼きにし、現金収入にしました。開墾した畑にそばや菜種などを蒔いて、収穫しリングと交換していました。その頃から熊が出て、いたずらされる事もありました。雪深い尾岱沼の地域のため、買ひ物は馬ソリで1日がかかり、牛乳も富岡集乳所まで運びました。

昭和39年頃にブルドーザーが入り、開墾も容易になりました。みるみるうちに畑になりました。

その翌年に電気がつき、搾乳作業がミルカーに変わって手搾りの苦勞がなくなりました。昭和40年代はサ





イ口造りが盛んに行われ、近所で助け合いながら作っていました。徐々に乳牛を増やし20頭程度となりましたが生活は楽ではなく、秋になると祖父、義弘さんはイカ釣り船に乗り、生活費を捻出し苦労されたそうです。

父・宏幸さんは地元の学校を卒業後に、実家へ就農しました。

昭和63年に父・宏幸さんが

母・智恵子さんと結婚。平成元年に俊くん・涼くんが双子で誕生しました。

両親に幼少期の事を尋ねると、「小さい頃から大人しい性格で搾乳や牛のエサやりの手伝いをしたり、弟の涼くんときゃつちボールをして、良く遊んでいた」と当時のことを話してくれました。

別海高校では酪農科に進学し、研修牧場で住み込み、牛に触れ酪農に必要な分野を学びました。

当初、本人としては高校卒業後すぐに実家に就農しようとしていましたが、「酪農以外の職種も経験した方が良い」という両親の勧めもあり、登別市の専門学校で2年間、舗装道路を作るための測量技術を学び、仙台市の大手土木会社に就職し舗装道路を作る仕事をしていました。約1年後に東日本大震災に遭遇し、津波や放射能の恐怖の中、被災した自宅にも戻れず車の中で一週間過ごさなくてはならない状況になり、一旦地



俊さんを見ても育成牛たちを許さず食べさせる

元へ帰ることを決めました。仙台から別海へ戻り、今までお世話になった牛たちに今度は自分が世話しようと思ふと就農する決断をしました。

**酪農の面白さや大変さ**

「牛は生き物なので休みが無く大変な部分ではあるけれど、手間をかけてあげるとちゃんと返してくれる所は素直。毎日同じサイクルでも、分婉



今はJA中春別チームで活躍中

きた際に農協職員に誘われたのがきっかけで、中春別農協の野球チームに加入し、攻守の要として活躍しています。

**休日の過ごし方**

など毎日が勉強になりとてもやりがいを感じていますと話してくれました。

小学4年生から始めた野球に専門学校まで打ち込み、最高戦績は道内の専門学校大会で優勝したそうです。地元へ帰ってきた際に農協職員に誘われたのがきっかけで、中春別農協の野球チームに加入し、攻守の要として活躍しています。

**これからの目標については**

将来の目標を俊さんに尋ねると「乳房炎を起こさず、牛がのびのびできる環境を追究していきたい健康で丈夫な牛づくりを目指したい」と将来の目標を教えてくださいました。

今回、快く取材を受けていただいた内藤俊さんありがとうございました。ありがとうございました。



青年部の仲間と一緒に牛乳消費拡大をPR

**<内藤 俊プロフィール>**

1989年7月16日内藤牧場の双子の長男として生まれました。別海高校を卒業後、登別の専門学校2009年卒業し、社会勉強のため仙台で就職。内藤牧場3代目として就農し現在に至る。趣味は野球(JAチーム)にNBA観戦、下の句カルタ、将棋、麻雀。



70歳以上の方々を敬い、長寿を祝う敬老会が9月25日に別海町ウエディングプラザにおいて開催されました。

# 趣味に仕事に、 現役で頑張つてますよ！

敬老会



今年70歳以上の対象者202人のうち67人が出席され、歌や踊りなどで楽しい一時を過ごされました。小湊代表理事組合長の挨拶で開会し、88歳の米寿を迎えられた方には別海町よ

り、70歳の古希を迎えられた方には、別海町社会福祉協議会よりそれぞれ記念品が贈呈されました。また、今後も健やかにいきいきと過ごしていただきたいとの願いを込めて、70歳以上の方々全員に農協より記念品が贈呈されました。

記念品の贈呈が終わり、別海町議会議員・西原浩様の乾杯の音頭とともに祝宴に入りました。会場には「戦前・戦後と激動の時代を歩んでこられた皆様には、心から敬意を表します。これからもその豊富な知識と経験を私たちが後輩にご指導下さい」と多くの祝電が寄せられました。各テーブルに所狭しと並べられたご馳走を囲みながら、久しぶりに会った友人



楽しいひと時を仲間と一緒に過ごしました



カラオケのご自慢に拍手喝采する参加者







と「お互い頭が白くなったもんだなあ」と再会を懐かしむ声が聞こえ、趣味やお孫さん、健康や地域の事、入植当時の昔話など、終始笑い声が溢れました。

農協女性部にはお手伝い役として、会場を盛り上げていただき、ステージでは、豊原手踊りグループ「鹿児島おはら節」、「鞍馬の火祭」、美原踊りの会の皆様には「夢追い川」の踊りを鮮やかな衣装で披露、終始華やいだムードに包まれました。

会場が賑わいをみせてきた頃に皆さんお待ちかねのカラオケが始まりました。カラオケの案内で会場を回ると皆さん遠慮しながらも



長年鍛えた喉を披露され、会場から温かい拍手や「よっ！待ってました！」とかけ声が送られていました。

参加された方からは「一同に集まる機会が少なくなってきたので、こうして年一回でもみんなと話せるのが嬉しい」と笑顔でした。

楽しい時間はあっという間に過ぎていき、敬老会対象者を代表し、豊原地区牧野信敏様より謝辞をいただき、中春別町内連絡協議会会長・藤原憲二様の万歳三唱にて、敬老会の幕を閉じました。

皆さん、これからも趣味や仕事と充実した毎日を過ごされてください。

多くの方たちの素敵な笑顔と触れあいました。



美原踊りの会(左)と豊原手踊りグループ(右)による踊りを披露してくれました



全員による益々の健康と長寿を祈って万歳三唱

カラオケでは素晴らしい喉を披露していただきました







# 尻相撲に笑い、玉ねぎリレーに汗をかいた活気溢れた例大祭

## 中春別神社例大祭

13日当日

は雨のため、予定されていた中

春別神社から中春別福祉館に場所を移し、保育園児から小・中・高校生、市街に住む人たちが参加しました。子供達が楽しみにしていた恒例のお神輿担ぎと、相撲大会は残念ながら中止となりました。園児達はこの日のために踊りを練習した姿を、カメラを構えたお父さん、お母さん達に披露し喜ばれていました。

また、中止になった相撲大会にかわり円形の台の上から落ちたら負けの尻相撲大会が行われました。

子供たちは尻相撲を見た事があまりないようで、ルールを説明してもらったものの、勢いよくお尻で押す事ができずに特に園児の部はなかなか決着がつかない取り組みもありました。

見るからに体格で勝負が決まっているようでも、相撲と違い番狂わせもあり会場から「いけー！」「落ちるなー！」と歓声が上がリ、ステージ前に子供達が大勢集まりました。

良い意気込みで勝負したものの、思わず台から落ちてしまい泣いてし



尻相撲って？どうやるの？



僕のお尻の強さがわかったか！



中春別神社例大祭のために毎日稽古してきました



「いいか？お尻ボッコと出すんだぞ、負けるな」と作戦を伝授





いろいろと各チーム作戦を練って玉ねぎリレーに臨んだのですが…思うように握力と、体力がついていかなかったようです



### 締めは恒例の「玉ねぎ拾いリレー」では大波乱!

中春別駐在所のお巡りさんも住民と一緒に玉ねぎリレーに

まう姿もありました。尻相撲に出た子供達は、一人ひとり参加賞を受け取り泣いてしまった子も笑顔に変わっていました。

最後の催しは、高校生以上が参加した班対抗玉ねぎ拾いリレーが開催されました。持ち場を入念にシュミレーションする人や、役割をジャントし、序盤はいい勢いでリレーしていたものの、時間が経ち疲れと滑る玉ねぎに苦戦し落としてしまったり、額に汗を流しながら皆さん1等賞を狙っていました。計量前に「間違いないうちが1番だな」と意気込むも実際計ってみると「あれー!? 全然ダメだ」という声が聞こえ、見た目以上に難しくハードなゲームだったようです。

残った玉ねぎは子供たちで拾いあい、今年の中春別神社例大祭が楽しく幕を閉じました。  
来年は晴れると良いですね!



残った玉ねぎを子供たちで袋に詰め放題!とあって、中には詰め過ぎて袋が破けるも





# 子供達と一緒に作った児童センター

中春別農協女性部木の実部会「児童センターみらいの見学」



木の実部会では中標津町児童センター「みらい」を8月28日(金)見学してきました。

元々同じ場所にあった児童センターを新しく立て替えたのが「みらい」で、その設計には今まで児童センターに通っていた子供たちが携わり、アイデアや子供の視点から見た使いやすさなどが採用されています。

建物の中は木材を基調と



量が違うことなどを見えるようにし、子供達の勉強に繋がれば良いかと考えています」と話してくださいました。

センター内にある収納ラックはキヤスター付きで、楽に道具を運ぶことができます。実はこれ、子供たちが提案したということ。「大人なら棚を作って収納するだけで終わってしまう、子供なら

ではの発想だ」と大人とは違う視点に皆さん感心している様子でした。室内がとても広く掃除が大変そうだと思いますが、帰る前に子供たちと職員で一緒に掃除をして帰るのさほど大変ではないようです。

今回の視察で地域と子ども達との繋がりを感ずる事ができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。参加された皆さんお疲れ様でした。

中標津町役場の石山さんは「モニターを設置することと今どのくらい発電しているか、天気によって発電



# 初めての北海道で酪農ヘルパーを体験

北海道酪農ヘルパー事業  
推進協議会(道内にある90  
のヘルパー利用組織で構成)  
が主催する『北海道酪農へ  
ルパー体験ツアー2015』  
が8月20日から4泊5日の

日程で開かれました。  
人材確保の第一歩として、  
首都圏の学生に人手不足に  
悩む北海道の酪農や酪農へ  
ルパーという職業について  
理解してもらおうと企画さ

体験で酪農、酪農ヘルパーを理解し  
将来、選択肢の一つになれば

▲古道谷牧場を見学し説明  
を受ける



尙小西牧場にて施設の説明、労働力の状況などに耳を傾ける

れたもので、全道で62人、根  
釧路地区には10人が参加され  
ました。  
JA中春別酪農ヘルパー  
利用組合には中央動物専門  
学校の富賀見(ふかみ)正義  
さんが参加され、中春別地  
区の根本春男牧場、美原地  
区の小林裕牧場で搾乳や給  
餌を体験しました。  
将来はドッグトレーナー  
の道へ進みたいという富賀  
見さんは、普段学校で接す  
る犬や猫と比べるとはるか  
に大きい牛を目の当たりに

し、その大きさにとても驚  
いていました。  
21日には豊原地区の古道  
谷一男牧場、久保義則牧場、  
美原地区の尙小西牧場を見  
学し、施設の説明や労働力  
の状況、牛に対する思いなど、  
貴重なお話を伺うことがで  
きました。

ヘルパー利用組合の副組  
合長でもある根本春男さん  
は、「実際に北海道で酪農を  
体験することで酪農や酪農  
ヘルパーへの理解が深まり、  
将来の選択肢の一つに加え  
てもらえれば喜ばしいこと」  
と希望を込めていました。

## 「夏の牛乳大作戦」プレゼントの礼状が届く

野付半島ネイチャーセンターと根室スワン44で8月8日に行った「夏の牛乳大作戦」でアンケートにお答え下さった方の中から抽選で、べっ  
かい乳業興社アイスクリームセットをプレゼントいたしました。プレゼント  
トさせていただいた方からお便りが届きましたのでご紹介します。

先日は思いがけない美味しいアイスクリームのプレゼントを届けてい  
ただき、感激しました。友人夫婦とで矢白別平和盆踊り集会へ2泊3日  
で参加した帰りに野付半島をめぐり寄らせてもらいました。おいしい牛乳  
と大自然に触れて元気に思い出いっぱいの旅ができて喜んでます。

来年も友人を誘って飛んでいきたいと思っています。

今、農業は大変な時勢ですが、食料自給率100%を目指し豊かな国  
づくりを支え合いたいと願っています。(ヨーロッパをまわると農産物や  
自然がとても守られています)

北海道の厳しい自然を活かしてこれからはがんばって下さい。JA青年  
部の若い皆さんにお会いできて良かったです。ありがとうございました。



## 根室ホルスタイン共進

# 高レベルの戦いの中、好成績の 中春別ホルスタイン達

根室ホルスタイン共進会が8月23日、中標津町ホクレン根室家畜市場において開催されました。

総出品頭数125頭と昨年よりもやや少なくなりましたが、9月19日、20日に安平町で開催される北海道ホルスタインナショナルシヨウに向け高レベルの戦いが行われました。

審査員には、カナダのプロジェアーナリスト、カール・ソーシエ氏があたり、機能性を重視した丁寧な審査講評をされていました。

晴れたり小雨が降ったりと天候には恵まれませんでしたが、当農協からは18頭（未経産牛9頭、経産牛9頭）の出品があり、一席に2頭が選ばれました。

一席に4頭、二席に11頭と大躍進をみせ、入賞

率は83・3%と大変素晴らしい成績を残しました。中でも、十一部で山田光男さん出品の「ライプリー

コレット シヨット」が一等一席を獲得しベストアダーに選ばれ、第六部の山田博和さん出品の「YMD ジャツキー スタンリーカツプ アンジエラ」は1等1席を獲得しジュニア・チャンピオンに輝きました。

今回の目覚ましい活躍で、2015北海道ホルスタインナショナルシヨウに13頭が出場切符を手に入れました。今年は10月に全日本ホルスタイン共進会が北海道で開催されます。全国の舞台に1頭でも多く立つためにまずは全道の舞台へ勇躍し中春別ホルスタインの気概を示すことを願わずにはいられません。



ライプリー コレット シヨット一等一席を獲得、ベストアダーに



YMD ジャツキー スタンリーカツプ アンジエラはジュニア・チャンピオンに





平成27年根室ホルスタイン共進会出品牛

審査員・カール・ソーシエ氏(カナダ/プロジェアーナリスト)

部	成績	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
1	2等1席	フロートリバー	フラワー アイオーン ジェニー	H26.10.29	ミッドフィールド CCM アイオーン	浮川 優
1	1等3席	グローリーランド	ウイングス アツトウッド	H26.10.27	メーブルダウズアイ G W アツトウッド ET	寺澤 佳吾
1	2等3席	プロミネンス	エタゾン マセラテイ	H26.10.1	NLBC エルフイン マセラテイ ET	寺澤 佳吾
2	2等1席	プレザント	マリールンド オータム ガール	H26.9.5	ミッドフィールド CCM アイオーン	中西 裕哉
2	1等2席	YMD	ユリアナ アイオーン ルイジー	H26.8.6	ミッドフィールド CCM アイオーン	山田 博和
2	2等4席	スウィートブライアー	スカーレット スキヤン	H26.8.4	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	竹田 潤
4	2等1席	ユキナシ	アイオーン マツト	H26.5.10	ミッドフィールド CCM アイオーン	佐々木靖裕
4	3等賞	ユキナシ	レデューク スプラツシュ	H26.4.28	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	佐々木靖裕
6	1等1席	YMD	ジャツキー スタンリーカップ アンジェラ	H26.1.14	ジレット スタンリーカップ ET	山田 博和
8	2等1席	プレステージ	ラスト チョイス ET	H25.4.14	ゴールデンオークス ST アレキサンダー ET	久保 光大
10	2等1席	YMD	インター アイオーン スター	H26.6.20	ミッドフィールド CCM アイオーン	山田 博和
10	3等賞	ライプリー	スポツティー マダー	H24.4.22	ライプリー ハヤ マダー	山田 光男
10	2等2席	フラインビュー	スプレー アイオーン チツク	H24.3.30	ミッドフィールド CCM アイオーン	島山 吉男
11	1等1席(BU)	ライプリー	コレット ショット	H24.7.26	リンカーンヒル ショット レイザー ET	山田 光男
11	2等2席	アビリティファーム	DDJ ウイランド	H24.7.13	ジレット ウインドブルツク ET	橋本 幸二
14	3等賞	プレステージ	ラスト チャンス ET	H22.4.7	マコンバー オーマン ボガート	久保 光大
15	2等1席	FR	マツヨ リヴェレスト	H20.10.9	コムスター リヴェレスト ET	浮川 優
15	2等2席	ライプリー	コレット サム	H20.7.5	レーガंकレストミスター ダーハム サム ET	山田 光男

根室ホルスタイン共進会祝勝会と北海道ホルスタインナショナルショウ壮行会が開催



北海道ホルスタインナショナルショウには根室管内から58頭が出品されます。このショウに先駆け、9月11日に根室ホルスタイン共進会祝勝会と北海道ホルスタインナショナルショウ壮行会が開催されました。団長の佐々木靖裕さん、同志会会長の竹田潤さんより全道に向けての意気込みが話され、小湊組合長、来賓を代表してジェネティクス北海道道東事業所所長の藤田功様より激励の言葉をいただきました。出品者の皆様と出品牛のご活躍を楽しみにしたいと思います。

2015北海道ホルスタインナショナルショウ出品牛

部	名	号	生年月日	父牛名号	母牛名号	出品者
1	フロートリバー	フラワー アイオーン ジェニー	H26.10.29	ミッドフィールド CCM アイオーン	FR フラワー ジェニー ハツビー	浮川 優
15	FR	マツヨ リヴェレスト	H20.10.9	コムスター リヴェレスト ET	FR マツヨ レビニユー コール	浮川 優
1	グローリーランド	ウイングス アツトウッド	H26.10.27	メーブルダウズアイ G W アツトウッド ET	グローリーランド ウイングス アレキサンダー	寺澤 佳吾
2	プレザント	マリールンド オータム ガール	H26.9.5	ミッドフィールド CCM アイオーン	プレザント マリールンド ピュア ガール	中西 裕哉
2	YMD	ユリアナ アイオーン ルイジー	H26.8.6	ミッドフィールド CCM アイオーン	YMD ユリアナ エレガント パーンズ	山田 博和
6	YMD	ジャツキー スタンリーカップ アンジェラ	H26.1.14	ジレット スタンリーカップ ET	YMD ジャツキー アトラス アプローチ	山田 博和
4	ユキナシ	アイオーン マツト	H26.5.10	ミッドフィールド CCM アイオーン	ユキナシ バツカイ マツト	佐々木靖裕
8	プレステージ	ラスト チョイス ET	H25.4.14	ゴールデンオークス ST アレキサンダー ET	プレステージ ラスト チャンス ET	久保 光大
14	プレステージ	ラスト チャンス ET	H22.4.7	マコンバー オーマン ボガート	ジレット ショトル ルツク アツト ミー ET	久保 光大
10	フラインビュー	スプレー アイオーン チツク	H24.3.30	ミッドフィールド CCM アイオーン	フラインビュー スプレーストーマチツク リリー	島山 吉男
11	アビリティファーム	DDJ ウイランド	H24.7.13	ジレット ウインドブルツク ET	アビリティファーム DDJ パージニア	橋本 幸二
11	ライプリー	コレット ショット	H24.7.26	リンカーンヒル ショット レイザー ET	ライプリー コレット サム	山田 光男
15	ライプリー	コレット サム	H20.7.5	レーガंकレストミスター ダーハム サム ET	ライプリー レッドマン コレット	山田 光男



# 「美味しかったよ!」の 声に笑顔

多彩なイベントと地元自慢の味覚を堪能できる産業祭が、別海町農村広場にて9月19日(土)、20日(日)の2日間の日程で開催されました。



乳ぼた餃子はいち早く売り切れとなりました



青年部によるステーキも大人気!



友好都市の大阪府枚方市のマスコット「ひこぼしくん」が登場!

んが多くなつて、  
昼時には行列が  
できるほどにな

今年で46回を数える「産業祭」は町内はもちろん、近隣市町やキャンピングカーで道内を旅行している本州ナンバーの車など、多くの人たちが繰り出しお祭りを楽しみました。

1日目の19日はたいへん強い雨のため、各イベントはコミュニティセンターで開催となりました。ステージ上では美原子童太鼓の勇壮な演奏が披露され、会場内に太鼓の音が響きわたると大勢の観客が注目、場内全体が演奏に聞き入りました。

20日は雨もあがり前日取り止めた馬事競技大会が開

催され、迫力溢れる人馬一体の競技会に固唾をのんで見入っていました。各イベントも予定通り進み楽しい「産業祭」となりました。また、別海じまん村では水産フェア、酪農畜産フェア、別海秋の味覚など各コーナーには買い求める人で行列ができる人気ぶり。JA中春別青年部も乳ぼた餃子、ハンバーグ、牛ロースカツステーキの3品の販売を行いました。大きな鉄板でステーキを焼くと辺りに香ばしさが広がり、「どこに行ったら買えるの?」「一つ幾ら?」と青年部員に尋ねるお客さん



迫力溢れる馬事競技会の一コマ

りました。  
商品は午後1時を過ぎる頃には売り切れる品もあり、なかでもいち早く売り切れた乳ぼた餃子を求めてきたお客さんは「なんだー無くなっちゃったか!」と残念な声も聞かれましたが、運よく買えた方からは「美味しかったよ!」とありがたい言葉をかけていただき、部員から思わず笑顔がこぼれていました。用意した商品は、大好評で完売することができました。

参加された皆さんお疲れさまでした。



ミルク王国のイベント「べっかいジャンボシェイク選手権」で冷たいシェイクに苦戦する参加者



根室農業改良普及センター  
**営農対策情報**

**営農計画書の作成について**

作成前の検討事項

1 厳しい酪農情勢だからこそ大切

北海道の平成16年を基準とした10年間の生乳100kg当たりの生産費は上昇が続いており、その大部分は購入飼料費の上昇分であることが分かります。それに伴って所得は低迷が続いています(図1)。

しかし、このような情勢の中でもしっかりと所得を向上させている事例は多く見られ、その特徴は経営の戦略を明確に立て、実践している酪農家にほかなりません。その戦略に当たる部分が営農計画書です。

2 営農計画書は経営の入り口

農業だけに限らず、すべての経営は①計画(Plan)②実行(Do)③評価(Check)④改善(Action)という4つのサイクル(PDCAサイクル)(図2)を繰り返すことによって、継続的な改善を目指します。その中で営農計画書(Plan)は次年の経営改善へ向けた入口であり、経営戦略を立てる道具として非常に重要なアイテム

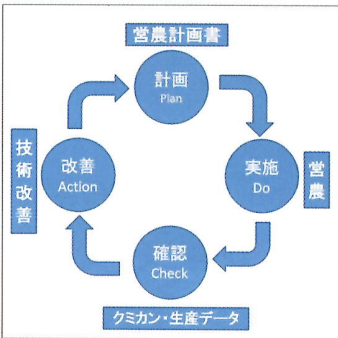


図2 PDCAサイクルのイメージ

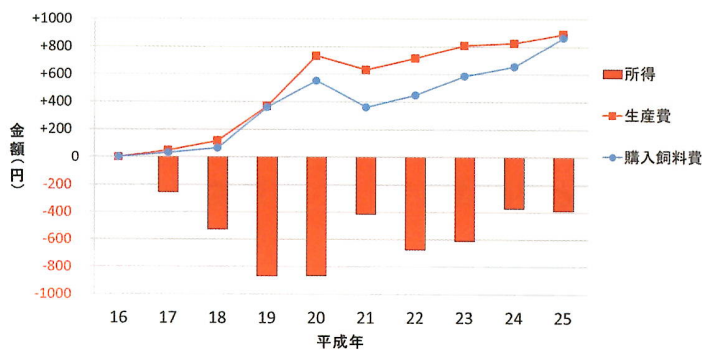


図1 平成16年を基準(=0円)にした生乳100kg当たり生産費および所得の増減額の推移(2015年3月公表?畜産物生産費統計より作成)

となります。

3 反省点を踏まえ戦略を立てる

例えば今年の実績で、購入飼料費が計画よりも大幅に超過し、経営が悪化したとします。この場合、その原因は飼養管理に問題があるのか?それとも粗飼料の栄養価(品質)の低さが要因になったのか?等の原因を探ります。酪農では問題点を分析する様々なツール(乳検データや分析値)やモニタリング手法がありますので、それらを有効に活用しましょう。

図3で示しているように「購入飼料費を削減したい」という目標に対する戦略でも、多くの技術の組み合わせが必要であり、短期的な戦略と中長期的な戦略を組み合わせた計画を立て、実行することが大切です。

4 家族や従業員と合意する

農業経営では、生産に係わる者(家族や従業員)すべてが、その内容について合意し、一丸となって取組まなければ目標達成は困難です。何かを取り組むということは、労働の増加や作業内容の変更を伴うことが多く、合意無しに決めることは、後にトラブルの元になりかねません。

係わる人と事前に十分な話し合いを持ち、目標や課題そして取組む内容について共有することは非常に大切な作業です。

図3 購入飼料費削減に対する対策例

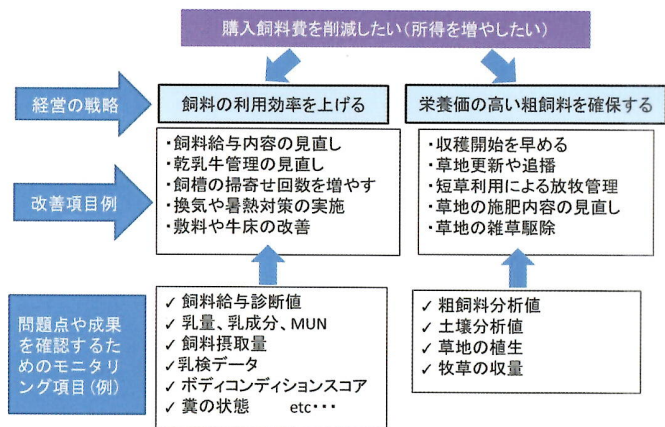


図4 事前に家族や従業員と良く話し合います

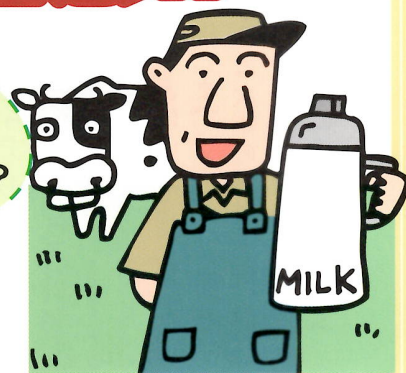




# 牛サルモネラ症に注意!!!

今年次、根室管内で10件発生!  
8~9月で5件発生!! (9月17日現在)

あなたの  
農場は  
大丈夫ですか?

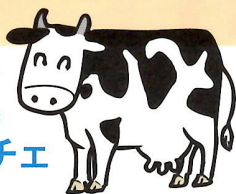


牛サルモネラ症は、畜舎や畜舎まわりの衛生状態が悪いと環境中に菌が残るため、発生の危険性が高くなります。今一度、次の項目をチェックして農場の使用衛生管理を見直しましょう!!

## サルモネラはどこから浸入するかわからない!

野生動物、人、車両、牛など要因は様々!

農場に持ち込まない対策をチェック



- いつも農場出入りに石灰帯がある
- 妨鳥ネットを設置している
- フィードカートに蓋をするなど、餌の保管は適切
- 導入牛はしばらく隔離し様子を見ている
- 畜舎出入りに踏込み消毒槽を設置している
- 長靴は消毒槽に入る前にブラシで汚れを落とす

## 牛が口にする場所、多くの牛が共通して使う場所は注意!

湿度・温度・栄養が揃えばサルモネラはどんどん増える!

農場ないで増やさない・拡げない対策をチェック



- 定期的に牛舎は清掃・消毒している
- 飼槽や水槽はいつもきれいにしている  
残餌は残っていない、水槽に餌が入ってまみになっていない
- パドックやパーラーなど牛舎以外の飼槽や水槽もきれいにしている
- 牛の出入りは乾燥している(牛舎に汚れを持ちこまない)
- 畜舎周囲に水たまりやぬかるみはない

## 子牛は抵抗力が低い!

衛生的に管理して、健康な子牛を育てましょう!



子牛の管理をチェック

- 分娩房があり、分娩する度に清掃・消毒している
- ハッチを使っている
- ハッチは使い終わったら清掃・消毒している
- 哺乳びんは消毒薬や洗剤で洗っている  
(水やお湯だけでは汚れは落ちません!)



# 老後の備えは農業者年金で安心

家族経営協定を結べば、保険料の国庫補助設けられます

## 「家族経営協定」とは…

家族農業経営に携わる各世帯員が、意欲とやり甲斐を持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の充分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

認定農業者で青色申告をしている方と家族経営協定を結んで農業経営に参画している配偶者も、保険料の国庫補助が受けられます。

### 家族経営協定に盛り込むとよい事項

#### ● やりがいを持って働くために

農業経営のビジョン・目的、日々の労働時間・休憩時間、給料や収益配分、農作業の役割分担 等

#### ● みんなで経営を充実させよう

経営の計画(目標・資金計画・所得目標・経営規模)、簿記記帳の担当、経営状況の把握、経営の役割分担 等

#### ● ゆとりある暮らしのために

生活の目標・役割分担、家計状況の把握、老後の生活設計、余暇・地域活動 等

#### ● 農業を続けていくために

経営や経営資産の移譲について、時期・方法、相続への対応 等

### 家族経営協定を結ぶと こんな効果が!(農家の声)

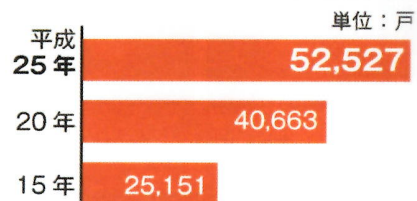


農業者年金の**保険料の国庫補助**を受けるためには、**家族経営協定の事項が盛り込まれていることが必要です。**

- 1 農業経営に関する基本的事項(規模、生産方式、経営管理の方法、農業従事の態様等)について、その配偶者または後継者の合意に基づいて決定されること
- 2 農業経営から生じる収益が、経営主とその配偶者または後継者の双方に帰属すること
- 3 将来の経営継承について、経営主とその配偶者または後継者の合意により行うこと

### 家族経営協定を締結している農家は**増加**しています。

#### 家族経営協定締結農家数



※各年とも3月31日現在  
(資料: 農林水産省経営局・平成25年12月20日発表)

詳しくは…

農業者年金基金

検索

<http://www.nounen.go.jp>

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会がJA中春別、または農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金

TEL:03-3502-3199(相談員) TEL:03-3502-3942(企画調整室)



詳しいお問い合わせ、ご相談は **JA中春別営農振興課まで** TEL:0153-76-2241



### ●【経営科・専攻科】産業祭に参加

9月19日(土)、20日(日)の2日間にわたって行われた別海町産業祭に、酪農経営科は“牛乳料理の無料配布”と本校で生産した野菜や加工品の販売、イベントの補助を実施。農業特別専攻科ではチーズ入りソーセージや学生の研究で取り組んでいるチーズの試食会など専攻科の紹介を実施しました。

今年は初日、土砂降りに見舞われ2日目も危ぶまれましたが、何とか天候も回復し、たくさんの方に活動の紹介を行うことができました。この日に向けて調整した野菜も大好評のうちに完売することができました。参加した生徒は、販売活動やイベントにも積極的に参加していました。作業に不慣れな部分も町民のみなさまに暖かくご指導いただき充実した活動とすることができました。

また、当日は日頃から食育活動として交流活動に参加している別海中央小学校の児童が販売活動の体験も行いました。児童も生徒もそれぞれの生徒が日ごろお世話になっている地域への感謝の気持ちを忘れず積極的に取り組みました。



### ●【経営科】別海マルシェに参加!

8月30日(日)に別海町観光協会の主催で開催された「別海マルシェ」に参加しました。別海町の食をアピールする本イベントに農産物の販売という形で参加させていただきました。当日は好天に恵まれたこともあり多数の来場者で賑わっておりました。観光協会様のご配慮でぷらと前広場の中心にブースを設置していただき、本校の農産物は好評のうちに売り切らせていただきました。今後もこのような町を挙げてのイベントに積極的に関わっていきます。



### ●【専攻科】第1回酪農技術現地研修会

8月18日(火)に第1回酪農技術現地研修会が行われました。

午前中は中標津ファームサービスにてTMRセンターの説明と質疑応答、午後からはNOSAI道東根室北部事業センターを見学させていただきました。

中標津ファームサービスでは、農業特別専攻科のOBでもあるTMRセンターの長瀬さんより、デントコーンを利用し細かく飼料設計された取り組みや、年によって異なる飼料の調整法などについて詳しくご説明いただきました。

NOSAI道東根室北部事業センターでは、最新の設備を備えたシステムチックな施設の様子や、素早く処置をおこなう手術の様子を見学させていただき、各学生にとって非常に有意義な研修となりました。農業特別専攻科の酪農技術現地研修会は10月と来年の1月にも管外、管内で実施予定です。



中標津町ファームサービスにて



NOSAI道東での見学

### ●【専攻科】農業法規

8月27日(木)、28日(金)、31日(月)の3日間で、外部授業「農業法規」が実施されました。

27日(木)と28日(金)はJA道東あさひより、営農振興課課長 白井明彦さんより、「酪農・畜産における環境問題」「家畜排泄物処理法」「農地法」についてご講義いただきました。また、7月より稼働している町内に新設されたバイオガスプラントや、JA道東あさひ哺育・預託センターを見学させていただきました。

31日(月)は根釧農業試験場研究部長・原 仁さんより、農村基本法・基本計画のあらましや、北海道農業・畜産の基本方向についてお話をいただきました。学生からは、「哺育・育成センターは、入牧時の検査や予防対策、健康な飼養管理など、安心して預けることができると思った」「今後の農業の方向性や根釧農業試験場の取り組みがよくわかった」という感想がありました。

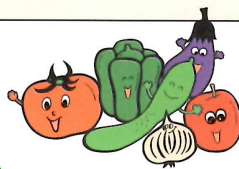


講義の様子





**野菜を  
プラス1皿、  
意識してみませんか？**



**おじゃまします、  
保健センターです。**

からだは1日に350〜400g  
(小鉢で5〜6皿程度)の野菜を必  
要としています。  
健診結果で血糖、血圧、LDLコ  
レステロール、尿酸などの値が基準  
より高かった方は、特に野菜をしつ  
かり食べるのが大切です。更に、  
こんにゃく、海藻、きのこ類も積極  
的に摂りたい食品です。これらの食  
品に期待するのは、ビタミン類のほ  
か、食物繊維やカリウムの働きです。

○食物繊維↓・食後血糖値の上昇を  
ゆるやかにする。

・ コレステロールの吸  
着し排泄する。

・ 便通をよくする。

○カリウム↓・ナトリウム(塩分)  
を排泄する。

・ 尿をアルカリ性にし、  
尿酸を排泄する。

先月、野菜摂取量の増加をPRす  
るため、特定健診会場で健診後  
の方に声をかけ、1日に必要な350  
gの野菜を量る体験をしていただき  
ました。アドバイザーは、別海町食  
生活改善協議会の方々です。立ち寄  
ってくださった方に、緑黄色野菜1  
50g、淡色野菜200gを、それ  
ぞれ予想しながら量りにのせてもら  
い、自分の食べている量と比較して  
いただきました。「これくらいは食  
べているよ」「緑黄色野菜は食べれ  
ているかな」「あー、全然こんなに  
食べていないわ」と反応は様々でし  
たが、1日必要量350gの写真を  
見て、ご自分の摂取量はいかがです  
か？

緑黄色・淡色野菜の中身は、どん  
な組合せでもOK!そして、食べ方  
は生でモリモリ食べてもよし、加熱  
してカサを減らしても構いません。  
(ほうれん草のおひたしは小鉢1皿  
で約70g、キャベツの千切りはサラ  
ダボウル1皿で70〜100g)。

できれば野菜は毎食たべること  
をオススメしますが、必要量に満たな  
い方は、まずはプラス1皿からチャ  
レンジ!忙しい時には、コンビニや  
スーパーのカット野菜などの活用も  
便利です。動脈硬化やがんの予防の  
ためにも、自分に合った食べ方で、  
必要な野菜量が摂れるよう意識し  
てみましょう。



1日の必要量はこれくらい!!(緑黄色野菜150g、  
淡色野菜200gの例)



○1日必要量350gの実測体験

**日本  
農業新聞  
からの  
お知らせ**

**日本農業新聞がより早く!!身近に!!パワーアップ!  
道東(帯広・釧路)印刷が11月2日よりスタート!**

日本農業新聞は11月2日付から、道東地区(道新聞総合印刷帯広工場、釧路工場)での印刷を開始します。道東地区の読者のみなさまのもとにより早く届けられる体制(一部地域を除く)を整備していきます。また、役立つ情報、知りたい情報をさらに充実させるなどの取り組みを強化してまいります。今後とも日本農業新聞のご購読をよろしくお願いたします。





生乳汚染事故を無くそう！

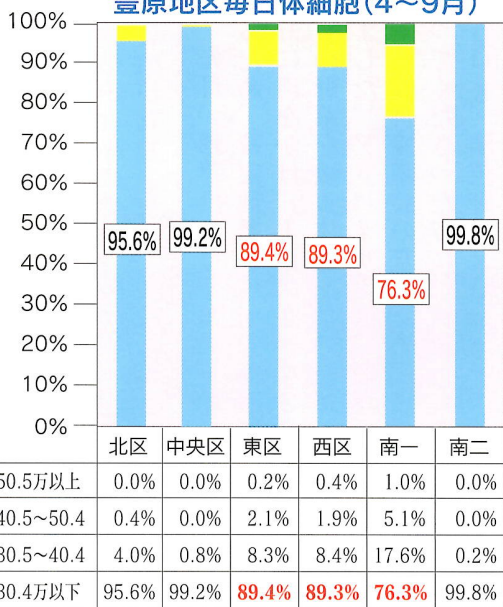
- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**5**件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故…… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

## 牛にも1日の生活リズムがあります！

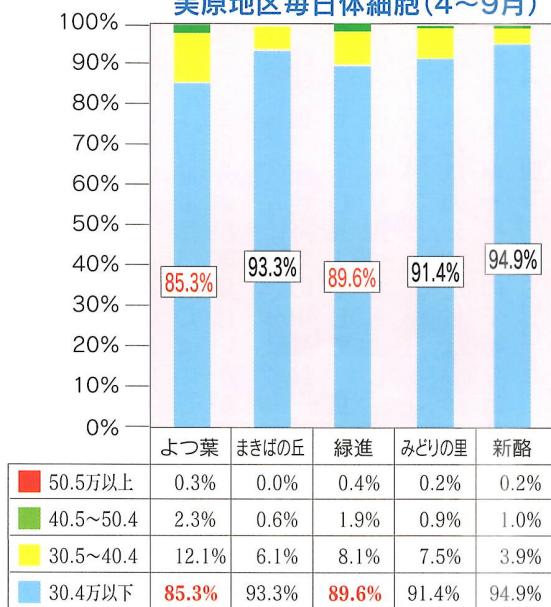
食べる、飲む、寝る(休む)など…

たくさん食べて、飲んで、休めるきれいな畜舎作りでストレスを取り除いてあげましょう。

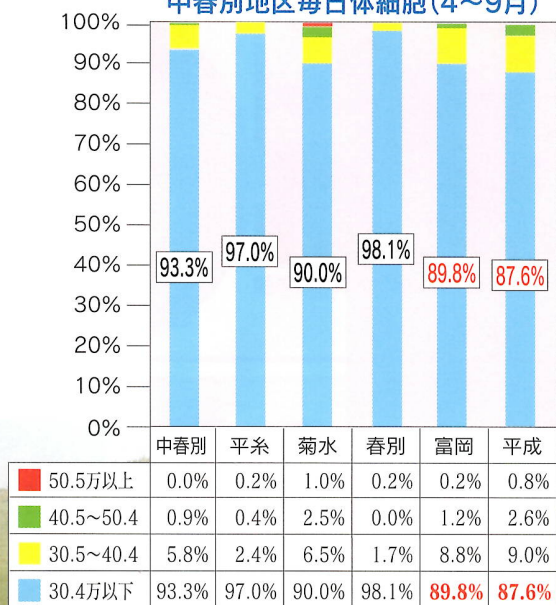
豊原地区毎日体細胞(4~9月)



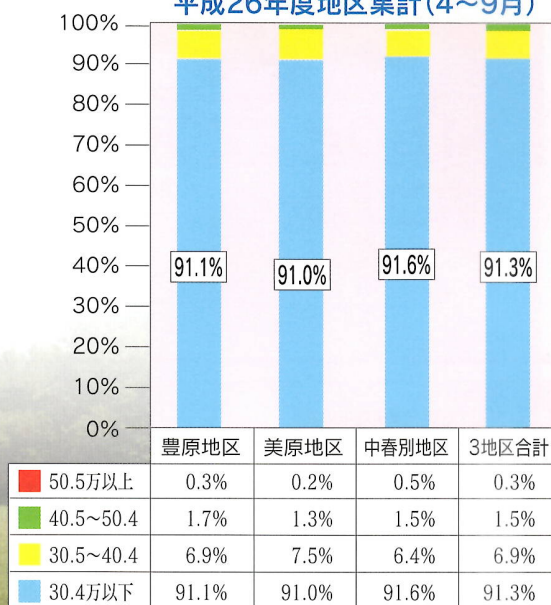
美原地区毎日体細胞(4~9月)



中春別地区毎日体細胞(4~9月)



平成26年度地区集計(4~9月)





## 議案

1. 平成27営農年度財産造成に伴う資金貸付について
2. 固定資産の取得について
3. 平成28営農年度営農基本方針(案)について

## 報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 平成27年度一日皆貯金の実施について
3. JA全国監査機構監査による一般監査報告について
4. 平成27年度9月末棚卸実査について
5. 第27回JA全国大会への参加(総務経済委員研修)について
6. 平成27年度8月末営農生産関連実績について
7. 固定資産の取得について
8. 平成27年度(後期)JA中春別選定種雄牛について

## 8月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	
乳脂肪分		909.606		34.32	32.69	1.63	
無脂乳固形分		572.412		49.61	47.34	2.27	
補給金		4.4592		4.46	4.12	0.34	
計画チーズ奨励金		1.8533		1.85	1.91	-0.06	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	313,631,753.8kg	3.60	3.58	0.02
		ランク2	0	6,805,257.1kg			
		ランク3	-3	180,480.9kg			
	体細胞数	ランク1	2	252,661,766.6			
		ランク2	1	35,320,177.6kg			
		ランク3	-2	6,679,426.9kg			
合計				93.84	89.64	4.20	

## 8月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	34円32銭	
無脂乳固形分②	49円61銭	
補給金③	4円46銭	
チーズ奨励金④	1円85銭	
脂肪率	全道	3.79%
	農協	3.84%
無脂固形分率	全道	8.67%
	農協	8.65%
成分乳価	全道	90円24銭
①+②+③+④=⑤	農協	88円81銭
乳質乳価⑥	全道	3円60銭
	農協	3円63銭
乳代合計	全道	93円84銭
	農協	92円44銭
⑤+⑥	差異	-1円406銭



# 懐かしきあの頃… そして今。



今月は廃止になった「標津・厚床間の鉄道」を回想したいと思います。

若い世代にとっては列車が中春別を走っていた事を知らないかもしれませんが、今からおよそ80年前、昭和9年10月に駅員2人で標津線・春別駅は開業しました。



駅前を中心に街として繁栄していき、旧駅前倉庫跡と呼ばれるのは以前に駅があった名残でもあります。

当農協の前身、旧中春別農協と根釧パイロットファーム開協へ到着する家畜飼料を始め、生産資材の貨物量が増加し昭和36年に発

着合計量35000トンとピークを迎え、荷主が貨物を奪い合うほどでしたが、やがて自動車の普及にもなって、昭和50年になると7800トンと減少しました。貨物の取り扱いは昭和55年5月をもって廃止。平成元年4月の廃止まで人々の生活の欠かせない足として活躍しました。

「高校通学で乗った列車は、1年生の時先輩達が怖くて座れなかった。暗黙の了解で座る席はほぼ決まっていた。当時は豪雪になる事も多く、運休になると学校は特別欠席になった。数日間、雪の影響で運休になると生活雑貨や食料の運搬も止まってしまい、人々の生活に支障をきたすこともざらだった。1カ月の学生定期代がおよそ3000円。通勤する人も多く、駅が無くなってバスや車が普及していった」と当時の思い出を懐かしく教えていただきました。

## 編集後記

▼朝、晩は肌寒く木々の色合いも徐々に紅くなり、すっかり秋の深まりを感じられるようになりました。

天候が不安定で二番草の収穫作業が思うように進まない話をよく聞きましたが、このくみあいだよりがみなさんの手元に届く頃には、収穫作業もひと段落ついているのではないのでしょうか。

▼別海町産業祭の記事を掲載しました。1日目の土曜日は土砂降りの天候でしたが2日目の日曜日はなんとか天気も持ちこたえてくれてホッとしました。後日SNSで調べると近隣の町はもとより、かなり遠方から参加された方も多く、迫力ある馬事競技や地元ならではの旬の味覚を楽しんでいました。

▼各地区で「こんな行事をやりますよ!」とイベントや、「家のハウスでりんごがなったよ」など、どんなことでもご連絡いただければ、広報担当がカメラ持参で駆けつけますので、気軽に声をかけていただければ取材にお伺いいたします。